

2023 年度第 1 回総会議事録

開催日： 2023 年 6 月 20 日（火） 19 時～20 時
開催場所： z o o m によるオンライン形式
出席者： 石田直章、吉田進、吉田寿子、岡田有史、瀬尾桂一、宇城元、中元伊知郎、
古城資久、岡本孝義、城隆志
委任出席： 三浦浩、高橋省吾、
欠席： 大堂秀樹
以上、正会員 18 名中 12 名出席で総会成立
オブザーバー参加：中元洋子（監事報告）、中村晃子（会計報告）、
吉田彫子（事務局長）、佐藤勇介（事務局報告）
議長： 石田直章
議事録署名人： 岡田有史、城隆志

石田理事長から理事会開会挨拶。

議長の代理として進行役に事務局長の吉田彫子を指名。

《議決事項》

- 1、 2022 年度決算 中村晃子税理士より 2022 年度の会計について報告があった。
収入の部、クラウドファンディングで 230 万円あまり増加、ただし、協賛金はスポンサー
会社の撤退で 390 万円減少。
支出の部では、福利厚生費は PCR 検査費用の 200 万円余り減少。一方、外注費は大会のラ
イブ配信・設営費で 400 万円余り増加
純利益は 192,950 円であった。
パラサポ監査で、経理規程に定められている通り、固定資産（10 万円以上）の購入に関し
ては理事長の決裁を受けるための稟議書の用意があったほうが良いとの指摘があり、今後は
10 万円以上の固定資産の購入に際しては、稟議書の作成、提出をし、理事長の決裁を得るこ
ととする、との報告があった。
以上、中村税理士より、決算報告に関する説明があった。
- 2、 中元洋子監査より監査報告があった。
- 3、 2023 年度予算および事業計画について、吉田寿子より説明があった。予算は 3 月
の時点のものなので、新年度に入ってから予算の減少が確実となり、これに伴い行事計画も
随時見直していることが報告され、最新の行事予定はホームページに随時掲載している、と
の報告があった。
以上の審議を経て、全会一致で 2022 年度の決算、予算、事業計画が承認された。

《報告事項等》




- ・ 強化部報告（吉田進 HPD より）
連盟の強化システム（FTEM）について、パリパラリンピックへの道筋、全日本選手権について報告された。
- ・ 事務局報告
 - ・ 地域組織育成と、地域育成に関するガバナンス整備について岡本地域育成委員会委員長から報告があった。
 - ・ 事務局佐藤より、普及とスポンサー獲得に向けた活動についての報告があった。

《意見交換、その他》

- ・ 宇城元（アスリート委員長）より、森英二理事の他界により、スポンサーとなっていただけという、次の新しいユニフォームの制作が頓挫してしまった。瀬尾正会員より連盟のユニフォームはパラリンピックごとに刷新すればどうか、という意見が出された。ただし、パラリンピックはユニフォーム規制があり、WPPO の承認品は使用できないので、2025 年の世界選手権から新しいユニフォームを導入してはどうかという意見が出された。宇城アスリート委員長から、ユニフォームに関する方向性が決まれば、制作を進めたい、と方向性が出された。
- ・ 古城正会員より、社団法人日本パワーリフティング協会（JPA）の理事長として昨年度は、JPPF の全日本大会に出席した。一方、JPPF は兵庫県大会に石田理事長が出席した。新年度でも、この交流を続け、全日本大会に古城 JPA 理事長が出席、JPPF からは、兵庫県大会または他の大会への出席をお願いしたいとの意見を受けて、JPPF でも検討していくこととなった。

以上、審議事項が終了したので、議長より閉会が宣言された。

書記；吉田寿子

議長	石田直章	
議事録署名人	岡田有史	
議事録署名人	城隆志	

資料

- 1, 決算報告書
- 2, 強化部報告（総会終了直後にメールで送付済み）

- 3, 地域組織育成資料
- 4, ガバナンス関連資料
- 5, 普及/応報関連資料